エレクトロニクス実装技術の新時代への幕開け

The new age of electronics packaging

専務理事 傳 田 精 一*

明けましておめでとうございます。今年も会員各位のご多幸をお祈りいたします。

さて去る 11 月 7 日の当協会第 9 回定時総会で、当協会と社団法人プリント回路学会（通称回路実装学会）との合併が正式に議決されました。協会にとって誠に大きな意味をもつ決定です。創立以来 30 年もの長い間、エレクトロニクスの成長とともに活動してきた我々は、ここに新しい時代の幕開けを迎えることになりました。

ここ数年間のエレクトロニクス実装技術の進展は、ご承知のように世界的にも国内的にも目を見張るものがあります。我々が技術者集団として取り組んできた実装技術もいろいろな方面から注目をされ、この分野で日本が世界を大きくリードしていると言う点からも、ここで国内の総力を結集せねばならないと言う気運が大きくなってまいりました。認可官庁である通産省もこれに賛同され、我々に近い活動をされている回路実装学会との合併が進展し始めました。

回路実装学会との合併によって、従来我々が中心に置いていたエレクトロニクス実装技術・生産技術・材料技術からさらに回路解析・素材開発・物理現象の解明等今まで活動範囲が拡大され、さらに社会のニーズである環境重視型の技術開発を包含して、名実ともに日本の実装を強力に進展させる基盤ができることになります。

従来学協会の合併の例は少ないのですが、今回の合併については関係各位の並々なご努力によって実現に向けて進んでおります。合併の途中経過については既に SHM ニュースでお知らせしてありますが、ほぼゴールに近づきましたので、現状を含めてここにご説明いたします。

合併は基本的に双方で合意され、組織としても正式に決定されているわけですが、それぞれ歴史の異なるふたつの団体の合併では調整の必要なことが多くあり、このための時間も必要です。我々は合併準備委員会を作り、双方から 4 名ずつの委員を出し、11 月現在では 7 回の委員会を開催しています。当協会からは副会長 2 人、専務理事、事務局長が参加しています。

1. 新学会の名称と合併手続きについて

新団体の名称は通産省認可の「エレクトロニクス実装学会」(Japan Institute of Electronics Packaging)となります。今まで合併と言う言葉を使っていますが法律的には新学会を設立するわけではなく、我々 SHM が名称を変更し、回路実装学会が解散して同会会員は新名称の「エレクトロニクス実装学会」(旧 SHM) に加入する形をとります。新学会の事業年度は 4 月 1 日から 3 月 31 日までと、大部分の会社と同じになります。新学会の会員数は未確定ですが 2,000 名前後になると推定されますので、会員へのサービスもより充実させることが可能になります。

2. 新学会の事業と活動

新学会の事業・活動については準備委員会の中に技術分科会を作り、SHM からは宮代理事を代表として検討を進めていますが、基本的には現在の SHM の活動はそのまま残し、回路実装学会の従来の活動と重複するものは統合化して実行します。現在計画が進行中の国際会議、ワークショップ、講習会、海外セミナー、展示会等もそのまま実行します。国内会議については、次回より統一大会を開催する計画がありますので、国内最大の学会となり、その重要度も増加すると考えられます。また合併を機会に新しい活動も開始したいと思っておりますので、会員

* Sei-ichi Denda (社団法人 SHM 専務理事)

の皆様のご意見を頂きたいと思います。

重要な事業である機関誌についても編集分科会を作り、SHM からは岩瀬理事を代表として検討を進めていますので、新年度から新学会誌が発行されます。新会誌は研究論文誌としての性格も持っていますので、重要な研究成果が発表され、業績として評価されます。これに関して、新学会は学術会議第5部の研究団体としての資格（学術会議会員選出資格）を持っていますので、この面からも評価され、会員の皆様の業績にも大きく貢献するものと考えられます。

3. 会員の手続きについて

前述のように SHM は法的には名称が変更されるだけとなりますので、会員の皆様は加入、変更等の手続きは不要です。ただし事業年度の変更に伴って、すでに皆様からは本年度は正会員は7カ月分、賛助会員は半年分の会費を頂いていますので、新年度発足後（1998年4月以後）改めて1年分の会費をご請求させていただきます。新学会年会費については現在未決定ですがご負担が増えることはありません。

4. 学会事務所

新学会では新しい事務所が必要です。SHM の事務所は文京区本郷、回路実装学会は杉並区の西荻窪にありますが、新事務所としては諸般の事情により、西荻窪の現回路実装学会事務所に決まりました。会議室も3室ありますので委員会や会議にも便利です。講演会等も同じビル内で開催できます。出張時には多少ご不便をおかけしますがご了承ください。これに伴い、電話、Fax 番号、電子メールアドレス、ホームページのアドレスが変わります。

5. IMAPS-Japan について

ご承知のとおり、現在我々は対外的には IMAPS（従来の ISHM）グループの一員として SHM-Japan の名称を使っています。現在グループ十数カ国の中、改称しないのは日本だけという状況です。外国の IMAPS は当然我々が IMAPS-Japan となることを期待しています。しかし新学会イコール IMAPS-Japan にはなり得ませんので、IMAPS-Japan の事務局機能を新事務局内に設置します。

これにより外国からは IMAPS-Japan への連絡が可能ですし、IMAPS 情報も国内にご提供できます。新学会の会員は IMAPS の会員としての特典（国際会議やワークショップへの参加費割引、出展割引等）はすべて受けられますし、海外では IMAPS-Japan 会員として行動できます。しかしそのための会費は必要ありませんし、特典の使用（たとえばカードの発行）もご希望の方に提供いたします。もちろん海外 IMAPS の会員として個人的に入会されるのは全く問題ありません。

6. 今後のスケジュール

1998年4月の発足に向けての今後のスケジュールは、1998年3月頃 SHM の定款変更（協会の名称変更その他）のための臨時総会を開催します。一方、回路実装学会は同時期に解散総会を開きます。法人が解散するには財産処分等の大量の事務処理が必要となり、処理の終結迄に数カ月を要します。

新学会は4月からの発足に向けて、通常総会を開催し、新役員の選出等を行います。

以上ご説明したように、4月発足に向けて最後の詰めの作業が行われています。役員、事務局とも最善の努力をしておりますが、情報の徹底等であらざる部分もあるかと思えます。ぜひ会員の皆様には何分のご理解とご協力を頂きたく存じます。